



労働者協同組合活用促進モデル事業 中間報告会

徳島県労協活用促進協議会のとりくみ

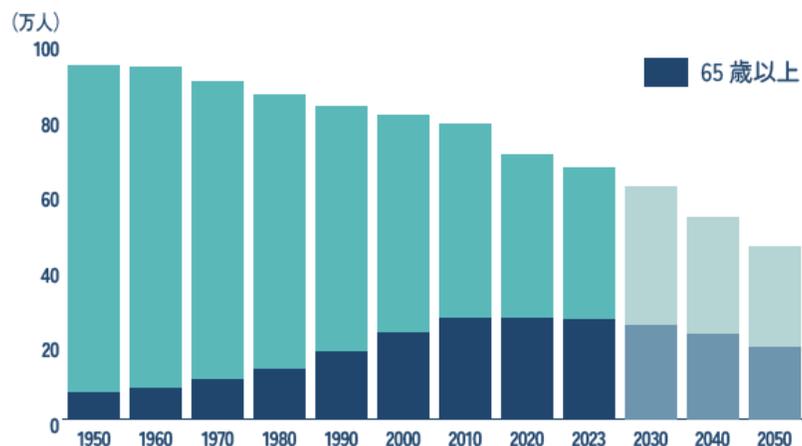


2026年2月16日
徳島県労協活用促進協議会
酒井 厚行

モデル事業に取り組むに至った経緯

徳島県の現状

▶ 人口推移及び高齢化の状況



2023年の徳島県の推計人口は70万人未満、少子高齢化の影響で2050年には46万人まで減少。予測全国平均を上回る速度で人口減少が進み、生産年齢人口の減少が深刻な問題

就業希望無業者は約4万人にのぼり、そのうち約1.2万人が65歳以上の高齢者。働く意思があるにもかかわらず、適切な雇用の場が十分に提供されていない可能性がある



モデル事業に取り組むに至った経緯

徳島県のこれまで

徳島県では労働者協同組合法成立と同時に周知を目的とした労働者協同組合法キックオフ集会を開催。実行委員に、各協同組合、労働福祉団体、経営者協会、オブザーバーで県からも参加。

徳島県協同労働サポートによる多様な就労機会創出支援事業

ろうどうしゃきょうどうくみあいほう
労働者協同組合法 参加無料
どなたでも参加
いただけます

セミナー 設立相談会

プログラム 各会場①②の2回制(同じ内容)です

- 労働者協同組合法の概要についての説明
- 全国の設立事例の紹介
- 労協設立を検討されている方への個別相談

お申込み 下記相談窓口までお電話にてお申込み下さい

会場	1回	2回
美波町会場	1/25 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00 美波町立日和佐公民館1階会議室 (美波町美波町美波町内1-3-1)	
三好市会場	2/1 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00 三好市保健センター (三好市海部町サンマヤ1-1-1)	
徳島市会場	2/8 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00 徳島県立総合福祉センター101会議室 (徳島市中昭和町1丁目2)	
阿南市会場	2/22 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00 阿南ひまわり会館 研修室うめ (阿南市富岡町北通3-3-1)	

相談 労働者協同組合 わたしたちはまろくづの協同組合です
窓口 ワーカーズコープ・センター事業団
・お電話によるお問合せ(平日午前9時~午後5時)
☎ 080-6310-3392 相談無料
どなたでも参加
いただけます

※出張相談やオンライン相談も受け付けています(事前予約をお願いします)



モデル事業に取り組むに至った経緯

徳島県のこれまで

実行委員会では、集会を継続的に実施していくと同時に、県事業「とくしま協同労働サポート」をどう有効的に進めていくかといった知恵や意見を出し合ってきた。いわば、協議会の前身となる活動を行ってきた。

徳島県協同労働サポートによる多様な就労機会創出支援事業

ろうどうしやくきょうどうくみあいほう
労働者協同組合法 参加無料
どなたでも参加
いただけます

セミナー 設立相談会

プログラム 各会場①②の2回制(同じ内容)です

- 労働者協同組合法の概要についての説明
- 全国の設立事例の紹介
- 労協設立を検討されている方への個別相談

お申込み 下記相談窓口までお電話にてお申込み下さい

美波町会場
1/25 土 時間 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00
会場 美波町立日和佐公民館1階会議室
(美波町美波町美波町内1-3-1)

三好市会場
2/1 土 時間 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00
会場 三好市保健センター
(三好市海部町サンマヤ1-4-6-1)

徳島市会場
2/8 土 時間 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00
会場 徳島県立総合福祉センター101会議室
(徳島市中昭和町1丁目2)

阿南市会場
2/22 土 時間 ①13:30-14:30 ②15:00-16:00
会場 阿南ひまわり会館 研修室うめ
(阿南市富岡町北通3-3-1)

徳島県
相談 労働者協同組合 わたしたちほろぷくらの協同組合です
窓口 ワーカーズコープ・センター事業団
・お電話によるお問合せ(平日午前9時~午後5時)
☎080-6310-3392 相談無料
どなたでも参加
いただけます

※出張相談やオンライン相談も受け付けています(事前予約をお願いします)



モデル事業に取り組むに至った経緯

協議会・構成団体

■代表者

徳島県生活環境部労働雇用政策課長 井口貴弘

■構成員

公益社団法人 徳島県労働者福祉協議会

公益財団法人 徳島県勤労者福祉ネットワーク

徳島県経営者協会

徳島県生活協同組合連合会

徳島県農業協同組合中央会

労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団四国開発本部
那賀町



事業の進捗状況

令和6年度実績

(令和6年8月度～令和7年3月度)

【活動メニュー】

- ・巡回相談員による個別訪問
- ・ハンドブックの作成
- ・アドバイザー派遣（設立支援）

活動メニュー	訪問件数
自治体個別訪問	11自治体、19回訪問
団体訪問	16回訪問
設立支援対応	12団体、15回対応



事業の進捗状況

多様な設立相談が寄せられるものの
新設に結び付かず…なぜ？

- 「県内第一号になりたくない」
- 「県内に存在していない具体性のないものに挑戦したくない」

様々な声も寄せられたが、
一番は「労協を知られていない」

⇒アプローチの仕方を変える必要

労働者が出資、総意で運営



労働者協同組合の制度周知に向けて協議するワーカーズコープ・センター事業団の酒井四国開発本部長（左）ら＝徳島市昭和町3のヒューマンわーくびあ徳島

労働者協同組合

制度化2年県内ゼロ

労働者が資金を出し合って全員の総意で運営する「労働者協同組合（労協）」が2022年10月に制度化されて2年がたったが、県内ではまだ発足した例はない。組合員の事情に合った事業ができ、地域の課題解決につながりやすいという利点があるものの、認知度不足などが影響していると考えられる。県は周知に力を入れるため、労協の活用促進を図る国のモデル事業に応募し、採択された。労使双方の団体などと連携して設立を強く後押しする。

国モデル事業受託 県、設立後押し

労協は3人いれば設立でき、誰かに雇われずに仲間同士でやりたい仕事をやる。10月1日現在、31都道府県に110組合があり、活動内容は家事代行やキャンプ場運営、配達事業など多岐にわたる。

県内では、NPO法人から23年4月に労働者協同組合が2022年10月に施行された。

合に組織変更したワーカーズコープ・センター事業団（東京）の所属事業所として、高齢者デイサービスの運営などに取り組む三好市の「西山そらの学校」など2カ所があるだけだ。これまで県は事業団に委託し、21年度から設立に向けた相談窓口を設置。23年度までの3年間で延べ243件の相談を受けた。任意団体が発足した事例はあったものの、長期的な収入のめどが立たないことなどを理由に、労協設立には至っていない。

県は本年度、設立支援に向けて厚生労働省の補助金を得られるモデル事業に応

25年度からは本格化させ、啓発などを開く。協力を務める県労働者の井口貴弘課長は「働き方の一つとしてもらい、少しでも持続可能な地域づくりをしたい」と話

事業の進捗状況

令和7年度新たな取り組み

①多様な雇用機会創出のための講習会

- ・トークイベント
⇒徳島文理大学の学生を中心に100名
- ・徳島県地域おこし協力隊・自治体職員交流研修会
⇒県内で活躍される協力隊の方々20名参加
- ・とくしま地域若者サポートステーション
「新しいはたらき方」をテーマに



事業の進捗状況

令和7年度実施状況

(令和7年4月度～令和7年12月度)

② 映画上映をセット

- ・「労協」をテーマにしたセミナーでは人の参加に結び付きにくい
- ・映画などをセットにしては？
(美波町長)
- ・労協法成立記念作品を軸とした講演を各地で企画

⇒ 協議会「秋の重点行動」に位置づけ



日程
令和7年 **11.29** 土

①10時～12時 ②14時～16時
※各回30前より会場。内容は同じです。

会場
徳島県 JA 会館 別館 2階大ホール
〒770-0011 徳島県徳島市北佐古一番町 5-12

定員
200名
※事前申し込み不要。先着順となります。

料金
500円
※当日会場にてお支払いください。

プログラム ※各回とも内容は同じです。
■映画上映
「医師中村哲の仕事・働くということ」
■アフタートーク
「ろうきょうで魅力ある地域づくりに！」
・労働者協同組合の概要について・実践事例について



事業の進捗状況

令和7年度実施状況

(令和7年4月度～令和7年12月度)

③ 体制の拡充

- ・ いろいろな企画を打ち立てても、直接「届ける」ことがなければこれまでと変わらない
- ・ 協議会事務局スタッフを増員
- ・ SNS拡散
- ・ 記者による取材記事の掲載要請

活動メニュー	訪問件数
団体訪問	58回訪問
設立支援対応	35回対応
講演会	7回開催



事業を通じて得られた成果

労協の設立

① Y&Yくらぶ

- ・阿南市で起きた豪雨災害（小学校が2階まで浸水）の時に活躍した元PTAの仲間。
- ・PTA終了後も「地域のために何かできないか」
- ・免許を返納した方から「市民病院に行けない」という声を聴く。
- ・バスは一日に数本、タクシーも2台しかない。
- ・「ほな、送ってあげるわ」でガソリン代をもらうと違法
- ・公共ライドシェアをするには法人格が必要、またそれをするなら買い物代行も。



労働者協同組合Y&Yくらぶ

- 【主な事業】
- ・公共ライドシェア
 - ・配食、買い物代行（今後）

【出資金】 一口：10,000円

【設立日】 2025年9月16日

事業を通じて得られた成果

労協の設立

② 低栄養防止コンソーシアム徳島

- ・ 高齢者の低栄養リスクの周知、食事・栄養・運動面からの指導を通じた健康寿命延伸を目的。
- ・ 医師、看護師、管理栄養士、食関連事業者、農業関係者など、多業種・多職種が連携。
- ・ 低栄養防止のための相談会、講演会、イベント開催、地域での社会参加支援。
- ・ 医療的ケア児とその家族を支える「おにぎりの会（子供食堂）」の運営なども
- ・ これまで任意団体で活動されていたものを労協による法人化



労働者協同組合低栄養防止コンソーシアム徳島

- 【主な事業】
- ・ 食支援栄養支援事業
 - ・ 専門職（栄養士・看護師）による相談、訪問支援
 - ・ 講座・料理教室イベント

【出資金】 一口：10,000円

【設立日】 2025年12月26日



事業を通じて得られた成果

波及効果

- ・ 周知イベントの参加者から「同じ内容のイベントを自分の地域でも開催してもらえないか」の声
- ・ 訪問した団体で労協講演会の企画
- ・ イベントの参加者から「自分も労協を設立したい、設立支援をお願いしたい」の声

⇒ イベントを通して労協を知って頂くと同時に「生き方」「はたらき方」そして、「これからの地域」について自分ごとに考えていただけるように



日時

令和8年 **2.15** 日
13:30～15:30 (開場 13時から)

会場

阿波海南文化村 文化館ホール
〒775-0202 徳島県海部郡海陽町四方原杉谷 73

定員

300名
※事前申し込み不要。先着順となります。

料金

無料

プログラム

- 映画上映
「医師中村哲の仕事・働くということ」
- アフタートーク
「医療×地域づくり：海南病院の取り組みについて」
・ 海南病院 國永直樹医師
「ろうきょうで魅力ある地域づくりに！」
・ 労働者協同組合の概要について・実践事例について

会場案内



事業実施上の課題

①多岐にわたる事業内容

設立支援においても、すべての事業に精通しているわけではなく、その事業の関係法令、手続きの進め方がわからないケースも

⇒「伴走支援事業」に相談

②法人が増えてくると

これまで限られた事務局スタッフで周知、設立、その後の支援を担ってきているが、設立法人が増えてくるにつれ、対応が煩雑化している。

「周知」のチーム、「設立」までの支援チーム、「設立後」の各種届出・運営支援のチームがいるように思われる。



今後の展望

前述の「課題」からモデル事業終了後を見据えて

- ・協議会の継続の必要性
「労協は設立が簡便」であるが、法人設立経験のない人からすると、未知の世界そのうえで、設立支援、運営サポートを行う存在がありつづけないと広がらないのでは
- ・モデル事業は令和8年度にて終了するので、今後の在り方について協議会で検討していきたい



労働者協同組合

ろうきょう 相談窓口

労働者協同組合は地域づくりを仕事にする新しい働き方です

やりたいことを
カタチに
地域の未来をつくる
法人設立をサポート

厚生労働省委託事業（労働者協同組合活用促進モデル事業）

設立に向けた
伴走支援します！
出張相談、勉強会等
ご相談ください

相談無料
どなたでも気軽に
ご相談ください

相談窓口 徳島県労協活用促進協議会
事務局：労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団
〒770-0942 徳島市昭和町 3-35-2 ヒューマンわーくびあ105

・お電話によるお問合せ（平日 午前10時 - 午後4時）
☎080-2612-9523

・メールによるお問合せ（担当者から返信いたします）
✉ tokushima.roukyou@gmail.com

※対面・出張相談やオンライン相談も受け付けております（要予約）